

丸盆岳から鎌崩

2012年11月11日(日) 曇りのち雨

メンバー：磯部S、池田T(記)

深南部の難所、鎌崩の通過にチャレンジした。結果、稜線上を抜けることが出来た。
加えて紅葉も楽しむことが出来て充実した山行となった。



登高尾根の標高1200m付近から。奥に見える稜線の真ん中辺りが鎌崩。



紅葉の落葉の中を登っていく。



林道を見下ろす。山々は紅葉真っ盛りである。



登高尾根を登りきって丸盆岳に向う。
雨はまだ降っていないが、風が冷たかった。



丸盆岳と鎌崩の間の最低コル。
正確にはその東側の巻き道である。
アルミの梯子が架かっていた。



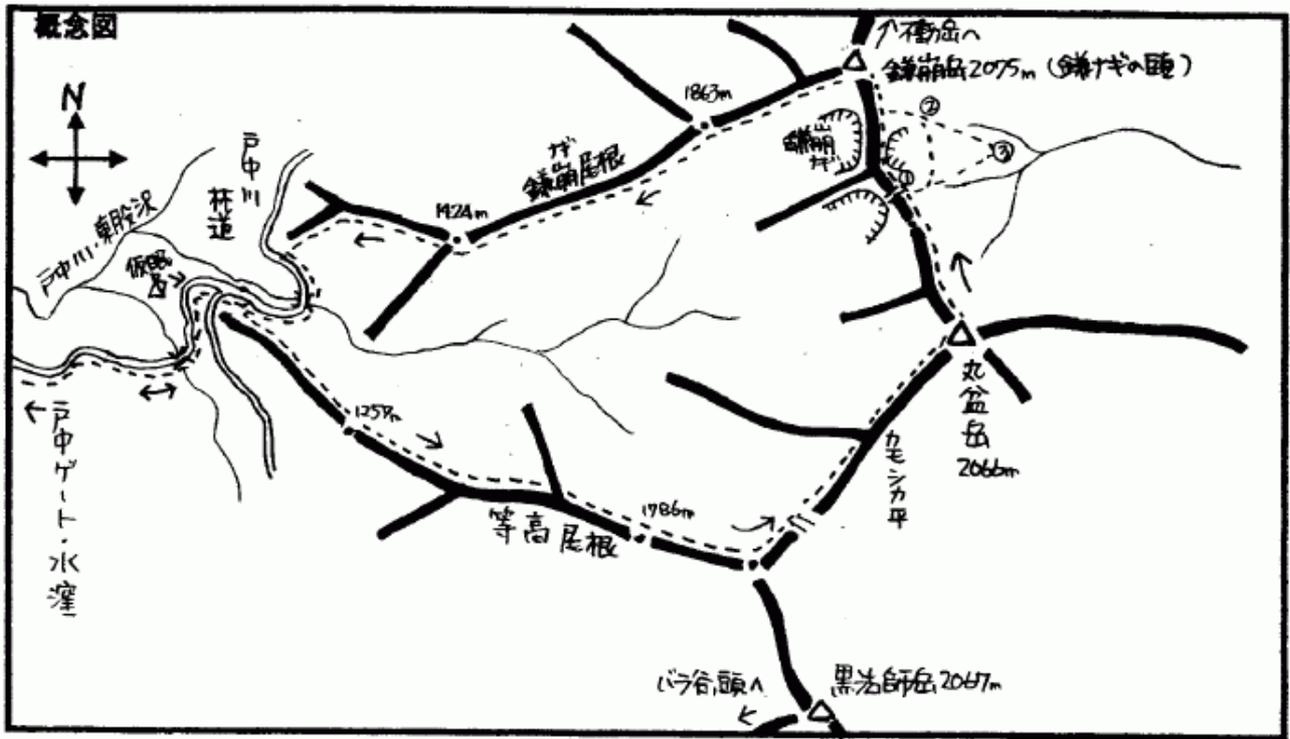
鎌崩核心部の手前には東側に降りる踏み跡があった。
危険な稜線を避けるための巻き道と思われるが、
ガスが濃くて不気味な感じである。



我々はロープを付けて核心部の稜線上を通過した。
ここは2ピッチ目。中間支点は1箇所しか取れなかった。
岩にシュリングを巻きつけてピレイ点とする。
約100mの核心部を3ピッチで抜けた。



難所を抜けてほっとしているとやがて雨が降ってきたが、
あとは鎌崩尾根を下るだけだし、紅葉が美しいので全く気にならない。
ここは標高1424m地点付近。周囲が開けていて一番の紅葉ポイントだった。



所要時間：登高尾根の登り口を出発して戻るまでに約 7 時間半

以上